

第2回定例会 一般質問登壇順

登壇順番	議席番号	氏 名
1	2	北 村 嗣 雄
2	10	淀 川 豊
3	6	高 橋 輝 彦
4	1	刈 田 敏
5	4	高 橋 和 子
6	7	深 澤 重 勝
7	8	高 橋 宏

一般質問通告書

令和元年5月29日
午前(午後) 0時40分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
政治(町政)の 理念について	<p>○町政の使命は町民の命と暮らしを守り未来への安心と希望を与えることであり、町政は町民の生活であると考えますが、行政のトップリーダーとして町政を預かる町長の認識されている基本的な理念を伺いたい。</p>	町長
行政運営につ いて	<p>○西和賀町は年毎に高齢化、人口減少と重大な2大課題が重くのしかかり町行政の根幹を蝕んでいると申しても事実過言ではないと思います。この様な中、かつての町栄華を取り戻す行政運営は、現町勢や財政事情等様々な制約があり難しく大変厳しい現実にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策として、中長期のあるべき町勢をしっかりと見定め、限られた組織基盤や財源の中で、行政運営が進める「選択集中」が求められると考えますが、町長の見解を伺います。 <p>○今年3月定例会の施政方針演述に於いて、今後の取組みとして第2次総合計画と第3次行政改革大綱のもと、あらゆる事業についてこれまでの業務の進め方を根本的に見直し、事務事業の効率化を図るとともに人口や財政規模に見合った施策を展開していくことにより持続可能なまちづくりを進めると述べられております。行政の効率化、財政の健全化の計画、具体的な取組みも示されておりますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策として、財政の健全化を確立するためには財源の確保も求められるが、公共施設、公営企業の経営、第3セクターの経営等、経営状況等を見ても根本的な見直しが必要かつ急務と思われるが町長の見解と認識を伺いたい。 	町長
農業振興につ いて	<p>○3月定例会の施政方針演述に於いて、町長は、「国による米の生産調整制度の廃止に伴う米価の下落などが心配されたが、ほぼ生産目安になった生産が行われ、米価が維持された。生産拡大は米価の下落に直結する。引き続き適切な生産が行われるよう対策を進める。」と述べられておりますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な対策を伺いたい。 	町長

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2番

氏名 北村 嗣雄



一般質問通告書

令和元年5月29日
午前(午後) 3時32分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
<p>学校教育 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における部活動の現状について伺う。 ・部活動の加入等における規則・ルール等の現状について伺う。 ・子供たちは多様な特性をもっていると感じるが、現状では運動部に偏った選択肢となっていると思うが、その点については教育委員会としてはどのように感じているのか、また、今後も現状と同様の在り方で良いと考えているのか、その考え方と将来展望について伺う。 ・部活動に運動部と文化部の選択肢は、最低でも必要と思うがその点について明確に伺う。 ・そこで文化部として総合文化部等を常設文化部として、加入希望の生徒がいる限りつくっていただきたいと思うが、その点について伺う 	<p>教育長</p>
<p>事業の取捨 選択について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状における事業の取捨選択は、いつ・どこで・誰によって行われているのか、また、どの程度、事業が取捨選択されているのか具体的に伺う。 ・第二次総合計画では事業の取捨選択は行われ計画されたものなのか伺う。 ・今後の地域における事業の取捨選択については、これまでのようなやり方で行われるのか、具体的にそのプロセスと考え方について伺う。 	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議長 高橋雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 10番

氏名 淀川 豊



一般質問通告書

①

令和元年5月29日

午前午後 8時52分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
<p>交流・定住人口拡大のために</p>	<p>◎深沢晟雄元沢内村長の業績を通じて交流・定住人口拡大につなげる事について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深沢晟雄元沢内村長について、現在2NPO法人によって広報、継承、普及活動が行われている。そのうち1法人に対し観光商工課所管として補助金が出ている。観光商工課はこの深沢晟雄元沢内村長の業績に対して、独自のあるいは他課と連携した取り組みの考えはないか。 ・NPO法人深沢晟雄の会では、「生命尊重」の理念の下、町内外の小、中、高校生を対象に「いのち」を考える作文コンクールを行っている。この事業の意義をどの様に捉えているか。 ・深沢晟雄元沢内村長は、昭和35年おそらく世界で初めて保健婦と連携して「地域包括医療」を構築させた。それを今、JICAを通じて海外各国から当時のシステムや、やり方を学ぼうと研修に来られている。この研修をしっかりと確立させ、例えば「生命尊重医療従事者を目指す研修会」等と称し、地域おこし協力隊を招致し、NPO法人と連携し3年以内の準備期間後立ち上げる等、研修制度を展開する考えはないか。 ・深沢晟雄元沢内村長の業績、またNPO法人の事業をみると観光面より教育面、健康福祉の面で有望かと思われる。いずれ各課が協力し合う事が肝要な訳だが、例えば「深沢晟雄基金」を創設し町内は勿論全国に、経済的に厳しい奨学生を募集する。基金はふるさと納税事業を活用する。うたい文句は、「育ててください。生命尊重医療従事者を！」等。このような可能性をどんどん出しあえる環境が必要で、大事だ。観光商工課では大分畑違いと感じる。所管を教育委員会あるいは健康福祉課に変え、これを推進する環境づくりをする考えはないか。 	<p>町長 教育長</p>

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

令和元年5月29日

②

午前午後 8時52分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
交流・定住人口拡大のために	<p>・現在深沢晟雄資料館を訪れる方々は、多くは医療従事者又はそれを目指す学生、一般の方、小中高生もいる。殆んど、わざわざここを求めて何かを得ようとして来られる方である。単なる観光の場ではない。深沢晟雄元沢内村長が「生命尊重」の哲学、理念に基づいて行った業績は、地元住民は勿論多くの方々に関心、感動を与えている。この哲学、理念はより多くの方々に語り伝え、受け継がれるべきもので、深沢晟雄元沢内村長の業績はむしろ行政が主導して展開するべきと考える。我町の世界に誇れる偉人、深沢晟雄元沢内村長を通して交流、定住人口の拡大に繋げる考えはないか。</p> <p>○銀河ホールを通じて交流・定住人口拡大に繋げる事について。 この質問をするにあたりH15に発刊された10周年記念誌をお借りした。(そこには銀河ホール関係者の方々の、当時の思い、10年目の思いなどが寄せられていた。)</p> <p>○記念誌によれば、</p> <p>・銀河ホールを建設設計した名古屋大学教授、清水裕之氏によると、「沖縄県の具志川市民会館の小ホールは銀河ホールと同じ規模でひそかに双子ホールというコンセプトで作られた」と秘密の告白を寄稿されている。「対称的な気候風土を持つが、芸能文化の宝庫という点で多くの共通点を持っている。双子ホールを契機に文化交流が生まれてくれれば。」という願いも述べられている。これをもとに交流も考えられるが、どう捉えるか。</p>	

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6番

氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

令和 元 年 5 月 29 日

③

午前午後 8 時 52 分 受 領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
<p>交流・定住人口拡大のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当時銀河ホール建設実行委員長だった川村光夫氏は、「銀河ホール、それは過疎に悩みながらも未来に希望を持ち、町民みんなの夢を乗せて発進する、宇宙列車のステーションなのだ」と言っている。銀河ホールを活用し過疎を克服しようとする意志が感じられるがどう捉えるか。又、銀河ホール館長としてこれを踏襲する考えはないか。 ・また、川村光夫氏は銀河ホールに付随するUホール建設時に、「この施設は町のゲストハウスとしてお客さんを迎えたり、そこを稽古場として町民自身の創造活動の場とすることもできる。あるいはほかの芸術団体がここで合宿稽古をして一つの舞台を仕上げる。出来た舞台は町民に見せてもらう。そうなるここは演劇誕生のふる里、演劇を見るだけでなく創る場所となる。」と言っている。昨年度のアートコーディネーターによってまさに現実のものとなっている。先人達が願ったこの事が、過疎の克服の第一歩となり交流、定住人口の拡大に繋がっている。これをどう評価するか。また、この取り組みを継続的に確保するため、初期段階として軌道に乗るまで支援すべきではないか。 ・元湯田町教育長の佐藤清次氏、元湯田町長の菅原信夫氏、現町長の細井町長も寄稿され、それぞれ言葉は違うが銀河ホールは町民が参加し満足してもらう事は勿論で、更に全国に名だたる文化を維持発展すべく力を合わせて発信して行かなければならないという思いが読んで取れる。これは、もっともっと町内外の人や文化の交流を深め広く発信し、最終的には交流、定住人口の拡大に繋げて行こうという趣旨ではなかったか。当時と今の思いを町長に伺う。 	

上記のとおり通告します。

令和 元年 5 月 29 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

令和 元 年 5 月 29 日

④

午前午後 8 時 52 分 受 領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
交流・定住人口拡大のために	<p>・前回の私の一般質問で教育長は演劇事業の飛躍について「町民の演劇に出演する、参加するということ、それをもっともっと増やしていくことが最終目標だ」と答弁している。教育長が言われている事は、途中経過として当然必要なステップではあるが、これはあくまで途中経過でしかない。町の三役として当然掲げるべき最終目標は、「交流、定住人口の拡大」であるべきと考える。上記のとおり先人達の銀河ホール設立に対する思いや、演劇事業の可能性を途中経過で止めて良いか。</p> <p>○教育委員会は、交流、定住人口の拡大に繋がる途中の段階を最終目標として設定し、その上にある目標を見ようとしていない。その他の各課でもそういう傾向が感じられる。このような状況では、この壮大である交流、定住人口の拡大は到底達成できるとは考えにくい。これが縦割り行政の弊害であるならば、縦割り行政の限界はあまりにも低すぎる。町全体で取り組むべきこの課題を、ふるさと振興課のみが課題として取り組むべきことではないと思うがどうか。ふるさと振興課長としてどう考えるか。策はあるか。</p>	

上記のとおり通告します。

令和 元年 5 月 29 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

令和元年5月29日

午前/午後 8時40分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
保健医療福祉	○西和賀町総合計画の取り組み目標1保健医療福祉領域	町長
について	「いきいきと健幸に暮らすまち」について、財政が厳しい	教育長
	状況にあっても、サービスの低下はあってはならないと	
	思うが、目指す方向は具体的にどのような事か、又その	
	課題について伺う。	
	○医療分野において、新たな町立西和賀さわうち病院長が	
	就任され、町民の期待するところも大きいと思いますが、	
	今後の、病院のあり方について考えを伺う。	
	・入院患者数の状況について伺う。	
	・ベット数、利用について考えを伺う。	
	・職員の人材育成について状況を伺う。	
	○健康寿命を延ばす取り組みの現状と課題について	
	それぞれ伺う。	
	・運動について。	
	・栄養について。	
	・社会参加について。	
	○健幸ポイント事業の成果について伺う。	

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議員 高橋 雅 殿



西和賀町議会議員

議席番号 1番

氏名 刈田 敏



一般質問通告書

①

令和元年5月29日
午前/午後 3時46分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
<p>国保税について</p>	<p>○国保税は他の医療保険に比べて高いので、全国知事会・全国市長会・全国町村長会は、1兆円の公費負担増を政府に要望しているということを昨年12月定例会で質問しました。中小企業の協会けんぽとの比較で1.3倍の負担をしているので、1兆円の政府負担があればその格差が是正されるという考えのようです。そこで、今回は西和賀町の保険税と協会けんぽとの比較についてお伺いします。ちなみに盛岡市と協会けんぽの比較は、単身世帯で収入が240万円の場合は、協会けんぽが11万8,080円、盛岡市の国保は18万7,800円。夫婦で就労1人、子供2人の4人世帯では収入400万円の場合では協会けんぽが20万736円、盛岡市の国保は40万円と試算されているということです。西和賀町では同じ条件ではどのようなになるか伺います。</p> <p>○国保税の特に均等割は子育て世代の負担が重くなっています。少子化の時代に子供の数が多いため、重税が課せられるということで、時代に逆行しますし、他の医療保険にはありません。宮古市では子供の均等割を廃止したとのことですが、西和賀町ではそのためにはどのような試算になるのでしょうか。基金を使えば困難ではないと思いますが、ご所見を伺います。</p>	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4番

氏名 高橋 和子



一般質問通告書

②

令和元年5月29日
午前/午後 3時46分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
	<p>○国保税を滞納すれば、短期保険者証・資格証明書・差し押さえと、程度によるペナルティがあります。そのためには本人はもとより、役場の担当課も困難を強いられていると推察されます。県内を見ますと件数にバラつきがあり、住民に近く対応している自治体は数を下げているように思います。医療保険は命が危険に晒された時の救いになるものですから、このようなペナルティはあってはならないことです。ちなみに滋賀県の野洲市では生活の困難のシグナルととらえ、生活支援のきっかけにするということです。「ようこそ滞納いただきました」と受け止め対応するということです。中には失笑の向きもあるでしょうが、行政が住民のくらしに立ち入るとは、そういうことではないでしょうか。以前の福祉活動の向上に行政や組織が真剣に取り組んでいた時代は正にそういう住民のシグナルを見落とさず手を差しのべることが優れた行政でした。その時代と比較すると今は冷たい時代だと感じます。このようなペナルティをせずに住民に対応すべきと思うが、いかがか伺います。</p>	町長
保健センターについて	<p>○保健センター建設への日程はどのようになっているか伺います。</p> <p>○保健センター建設の目的はどのようになるのでしょうか。</p> <p>○保健センターの建設の理念はどのようにされるのでしょうか。</p>	町長
国道107号のトンネル化について	<p>○今年度の取り組みをどのように進めていかれるのか伺います。</p>	町長
保育	<p>○昨年度切実な住民の声があったゼロ才児保育についての見通しを伺います。</p>	教育長

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議員 高橋 雅 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4番

氏名 高橋 和子



一般質問通告書

①

令和元年5月29日

午前(午後) 2時40分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
1.志賀来スキー場ノルディックコースについて	<p>○10月から消費税率が引き上げられることから町内各施設の使用料を改定することについて、議会に対しては全員協議会に於いて、町民に対しては町政懇談会を開催しそれぞれ説明がなされました。それに基づいて、以下について伺います。</p> <p>①従来無料使用されていたものを利用形態の明確化に伴う新規料金の設定とあるようですが、同じスキーでもアルペンと違って、ノルディックスキーは娯楽性が低くその競技の特質性からして料金徴収には大きな疑問を感じる。と言うより、徴収するべきではないと思うが、今一度改めて考え方を伺う。</p> <p>②全員協議会の説明の中で照明設備も整い、新たなコース整備も計画中であると言われておりましたが、照明設備については数年前から要望を受けながら予算措置がなされず、昨年北上信用金庫さんからのご寄付で整備されたものであることは、今私が言うまでもないことでありまして、新たなコースについても同様の要望を受けても今尚整備される様子もうかがえない様に見える中で、料金徴収が先行されるのは、町民感情からして受け入れ難いものと思いますが改めて考えを伺う。</p> <p>③加えて料金を徴収しているスキー場が少ない中であって、稀に徴収しているスキー場と比較しても400円は極めて高いと感じるが如何か。また、浴場料金では近隣の類似浴場の料金も精査したとのことでしたが、この案件についてはどの程度比較がなされたのか伺う。</p> <p>④全員協議会の説明の中で管理、維持コストのことにも触れられておりましたが、町内施設料金設定の整合性を考える時、屋内温泉プールの利用料と比較すれば投下金額からして大きな疑問を感じるが如何か。また、屋内温泉プールについては、この4年間(平成27年度~30年度)に新設・修理等に投じた金額の総額はいくらか、加えて指定管理料の総額はいくらかを伺う。</p>	町長 教育長

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 7番

氏名 深澤 重勝



一般質問通告書

②

令和元年5月29日
午前(午後) 2 時 40 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
2.町内温泉施設の料金改定について	<p>○消費税率の改定に伴い施設管理に要する経費を含む改定、と言うことで各温泉施設の料金改定案が示されましたが、このことについて次のことを伺う。</p> <p>①この案件については事の性質上当初予算に上程し、予算審査特別委員会で審査すべきであったと思うが、過ぎてしまったこととは言え考え方を伺う。</p> <p>②今回の料金改定対象施設は6条例8施設だけの様であるが、他の施設はどのようなかを伺う。</p> <p>③施設管理に要する経費を含む改定ということであるが、料金改定によって経費の充足は出来るかを伺う。本来、説明の段階で経営実態や状況によっては改善計画等も示すべきと思うが考え方を伺う。</p> <p>④全員協議会の説明の中で温泉施設 10 箇所、施設管理費を含まない金額で過去5年間平均 9,800 万円の持ち出しとのことでしたが、同僚議員の一般質問の答弁では、過去5年間の平均の維持費は2億1,592万円使用料収入を差し引いて、年間約1億3,000万円の支出と答えている。町民に対して正しい実態を示して理解を得るべきと思うが真意を伺う。</p> <p>⑤平成28年12月に西和賀町公共施設等総合管理計画が策定され、様々な施設の管理運営に当たっていると思うが、同僚議員の一般質問や取捨選択の表現で議論されてきた経緯も含め、町内の温泉施設の有り様を具体的にどの程度議論されているかを伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和元年5月29日

西和賀町議会議長 高橋 雅 殿



西和賀町議会議員

議席番号 7番

氏名 深澤 重勝



一般質問通告書

令和元年5月28日
午前/午後 2時20分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
志賀来スキー場の整備・運営について	<p>志賀来スキー場のクロスカンントリーコース整備について、昨年度ワークショップが行われていた。この結果を受けて町として今後どのように整備されて行くのか、運営方法など含めて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース整備の年次計画は ・湯田スキー場とのすみ分けは ・今後の運営方法は 	町長 教育長
町民バスについて	<p>昨年10月から患者輸送バスを町民バスへ変更し運行しているが、今年10月からの有料化に向けこれまでの課題と改善方向について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルートの見直しは ・運行の増便は ・料金徴収方法は 	町長

上記のとおり通告します。

令和元年5月28日
西和賀町議会議員 高橋 雅 殿



西和賀町議会議員
議席番号 8 番
氏名 高橋 宏

